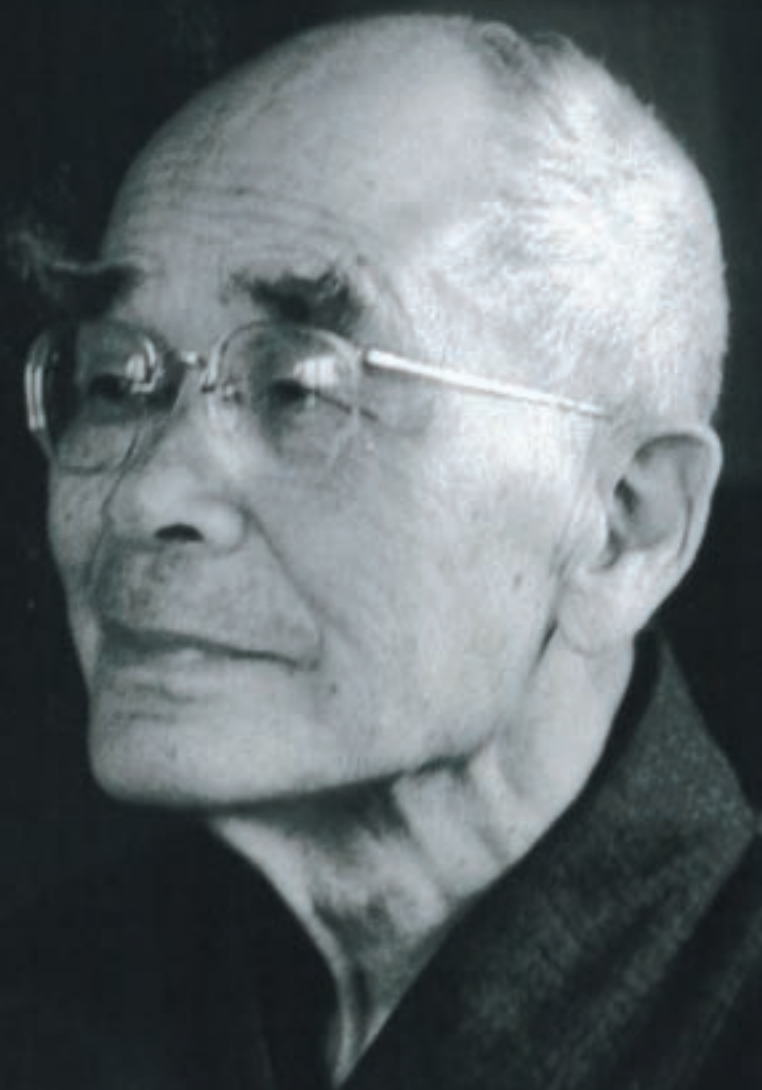


禪——東洋的なるもの 鈴木大拙講演集



「世界の禪者」鈴木大拙の哲学から学ぶ生き方の知恵
2016年に没後50年を迎えた鈴木大拙。禪の文化や仏教思想、東洋的なもの
考え方などを広く世界へ紹介し、今なお国内外に多くのファンがいる。
その大拙が1958年、1960年に語った、3つの日本語講演と貴重な英語講演
を収録した4枚組のCD集。

鈴木大拙 (すずきだいせつ)

明治3年金沢に生れる。同24年、円覚寺の今北洪川、釈宗演について参禅。翌年東大選科に入る。27歳でアメリカに渡る。この頃より仏教関係の著作を英訳刊行。大正10年、「終生無二の友」西田幾多郎の勧めで大谷大学教授となる。昭和11年ロンドンでの世界信仰会議に日本代表として出席。この時以来欧米諸国で講演。戦後はオックスフォード、コロンビア、ハーバード大学等で仏教哲学を講じた。24年文化勲章。41年96歳で没す。「禪と日本文化」Zen and Japanese Cultureをはじめとするその英文著作は、E・フロム、A・トインビー等多くの西欧知識人にも影響を与えた。

CD収録内容

第一巻 禅と科学

(73分) 収録年:1960年(鎌倉・円覚寺)

西洋の科学的、分析的なものの考え方は、対立や争いを生みやすい。他方、東洋には、人々を融合させ、本来の意味で人間に自由をもたらす優れた世界観として「禅」がある——。禅を世界に紹介してきた仏教思想家、鈴木大拙の歴史に残る名講演。

第二巻 禅との出会い—私の自叙伝—

(57分) 収録年:1960年(ラジオ番組のために収録)

金沢での生い立ち、禅との出会い、参禅した円覚寺での夏目漱石らの思い出、若き日のアメリカ体験……。自らの過去をあまり語りたがらなかった大拙が、昭和35年、ラジオ番組のために語った貴重な“声の自叙伝”。

第三巻 最も東洋的なるもの

(52分) 収録年:1963年(東京・赤坂公堂)

東洋と西洋の自然観の違いを例にとりて両文化の差異を浮き彫りにし、東洋思想の本質に迫った名講演。93歳にしてなお矍鑠と「西洋人に伝えるべきこと」を説き続けた“世界の禅者”鈴木大拙の肉声を収めた貴重な講演。

第四巻 禅の哲学について ※これは英語による講演です

(72分) 収録年:1958年(アメリカ・ウェルズリー大学)

学問的に禅は大乗仏教に属すが、大拙は、小乗、大乘の両方に属すか、あるいはどちらにも属さないという見解を持つ。禅の説く、「ものごとを正しく見ること」についての解説や、禅が中国で広まった背景について、ウェルズリー大学で行った貴重な英語講演を収録。

CD版 全4巻

禅—東洋的なるもの

鈴木大拙講演集

価格:本体13,000円+税

- CD4枚(分売不可)
+解説書(用語解説と第四巻の英語講演全文【英文】)
- 発行:アートデイズ

※第二巻以外はライブ録音のため雑音や一部お聴き苦しい箇所がございます。あらかじめご了承ください。

